

第46回全国学童保育指導員学校・西日本会場 in 愛知

No.	247	氏名	米本美紀
分科会		実践講座⑦「保護者に生活をつたえ、かんがえあう」	

全体講義では「学童保育と子どもの権利」についてのお話しでした。

印象的に感じたことは「今日という日を生きる権利」という言葉でした。

今日を幸せだと思える一日にすること。そういう一日にできる手助けをする立場にいるんだと改めて気づかされました。

日々の生活の中で、「それはダメ」と頭ごなしに子ども達に言ってきましたが、そうではなく子どもは大人とは違う感性を持っているというお話しを聞き、子どもの言葉を尊重することの大切さも私たちには大事な役目なのだと気づかされました。

分科会では、保護者に生活を伝え、考えあうというテーマでした。

どうしても、何かあった事を日々伝えがちでしたが、問題があった事だけをつたえるのではなく、良いところをたくさん伝えた中で、こんな事もあったと伝える事。

また、保護者の思いや願いをしっかりと聞く事。

そして何より、保護者と信頼関係を築くことで保護者と一緒に子どものことを考えるという事が何より大切なんだと思いました。

グループディスカッションでは、5グループに分かれ保護者に生活を伝える方法の意見交換が行われました。どの地区の学童クラブでも保護者会をしたり、保護者会後は親睦会を開いているなどのクラブもありました。

共通で生活を伝える方法としては、やはり「お便り」を発行しているクラブが多かったです。

子どもの生活がわかるように写真を載せたり、とにかく子ども達が楽しく生活をしていることが保護者に伝わるようなお便りを発行している努力をしているんだなと思いました。

今後のお便り発行のとき、楽しく生活をしている子ども達の姿や自然体の子ども達も伝えていけるお便りを発行し、発行時には一言、言葉を添えてお渡しするなどして沢山保護者の声を聴き一緒に子どもの事を考えていけるように努力していきたいと思いました。